

VDI環境バージョンアップ/UPS機器増設

背景

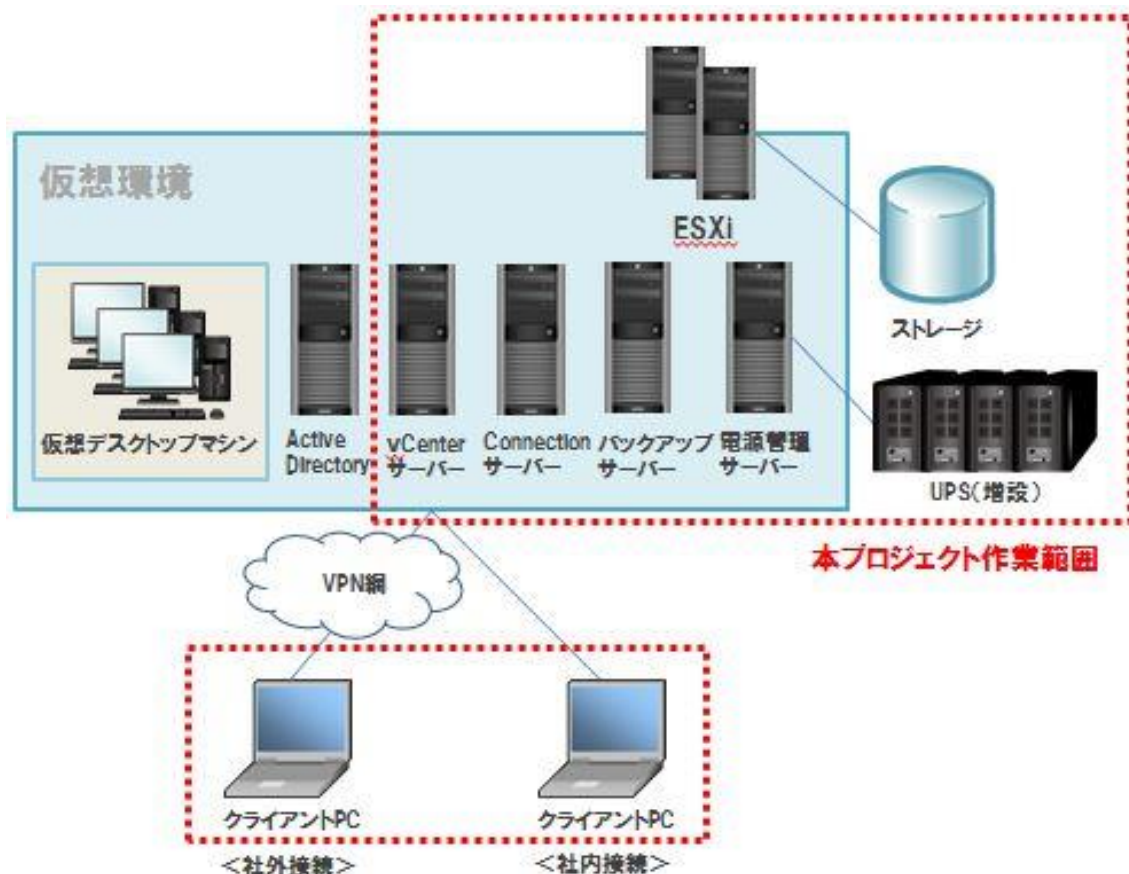
VMware製品のVMware Viewを使用しているお客様のVDI環境において、ストレージのハードウェアおよびVMware Viewのソフトウェア保守期限が迫っており、適切なサポートを受け続けることができないリスクがあったため、ストレージのハードウェアの入れ替えおよびVMware Horizon Viewへのアップグレードを行いました。

また、既設の非常用電源装置(UPS)のキャパシティでは、ビルが停電している間にシステムを稼働することができず、その間、業務も停止しなければならないといった課題があったため、UPS機器の拡張作業を行い、3時間程度の停電ならば業務を継続することが可能となるようにいたしました。

概要

業種	コンサルティング業
目的	<ul style="list-style-type: none"> VMware View 5.1 からVMware Horizon View 6.0へのアップグレード UPS機器拡張による電力供給時間の延長
作業規模	<ul style="list-style-type: none"> 利用ユーザー数: 約40名 仮想デスクトップ数: 約40台 サーバ環境 <ul style="list-style-type: none"> VMware ESXiサーバー 2台 Active Directoryサーバー 1台 VMware vCenterサーバー 1台 VMware View Connectionサーバー 1台 電源管理サーバー 2台 バックアップサーバー 1台 ストレージ 1台 L2スイッチ 2台 UPS 1台 →4台に増設
作業ボリューム	36人日(アップグレード:32人日、UPS拡張:4人日)
作業内容	VMware Horizon View 6.0アップグレード/ストレージ移行/UPS機器増設/動作試験

構成図



作業のポイント

VDIアップグレードによる操作性の向上

VDI環境のアップグレードにより、VMware Viewの保守期限中に滞りなく移行することができ、サーバー上の管理コンソールであるVMware Horizon View Administratorやクライアント上で使用するVMware Horizon Clientのデザインが見やすく一新され、操作性が向上しました。

UPS機器増設による電力供給時間の延長

お客様の環境ではUPS機器を導入しておりましたが、その電力供給時間は、電力の供給がUPSに切り替わってからシステムが正常に停止するまでの時間のみ確保されておりました。

本作業では、シュナイダーエレクトリック製品PowerChuteNetworkShutdownの管理の元でUPS機器を増設し、2～3時間といった長時間の停電時においても電力の供給が可能となるよう設定をいたしました。

弊社利用による効果

VDI環境構築時からのサポートによるスムーズな作業

お客様は、VDI環境の構築時から弊社にてサポートをさせていただいていたことからお客様の環境はすでに把握しておりました。

そのため、お客様の環境に合わせたVDI環境のアップグレード作業とUPSの増設作業をスムーズに実施することができ、作業工数を抑えることができました。

作業内容の詳細

要件定義

- ・ ファシリティ要件
- ・ 運用要件
- ・ 外部接続要件

設計

- ・ ストレージ設計
- ・ バックアップ設計

環境構築／移行

- ・ 新ストレージの構築
- ・ 旧ストレージから新ストレージへのデータ移行
- ・ VMware ESXi 5.1から5.5へアップグレード
- ・ VMware vCenter Server 5.1から5.5へアップグレード
- ・ VMware View Connection Server 5.1から6.0へアップグレード
- ・ VMware View Agent 5.1から6.0へアップグレード
- ・ VMware Data Recovery 2.0からVMware vSphere Data Protection 5.8へアップグレード
- ・ PowerChuteNetworkShutdown設定変更
- ・ UPS装置の拡張バッテリー増設

動作試験

- ・ VDI基盤の動作確認
- ・ VDI接続検証
- ・ バックアップ検証
- ・ ネットワーク疎通確認
- ・ 機器障害試験
- ・ UPS装置の動作確認

納品ドキュメント

- ・ 詳細設計書
- ・ 動作確認項目表兼結果報告書
- ・ 運用手順書